

個別薬剤に関する事例

～抗てんかん剤の規格・剤形間違いのパターン～

抗てんかん剤は、特に安全管理が必要な医薬品であるハイリスク薬に位置づけられています。2015年2月にラミクタールの「安全性速報（ブルーレター）」が公表され、本事業においても抗てんかん剤のヒヤリ・ハット事例が59件報告されているため、分析のテーマとして取り上げました（集計期間：2014年1月1日～12月31日）。

抗てんかん剤の中には、血中濃度モニタリングが推奨されている医薬品があり、「用量」に関する調剤間違いは重大な医療事故につながる可能性があります。抗てんかん剤の規格・剤形間違いに関する事例14件のブランド名と規格・剤形間違いのパターンを以下に示します。

ブランド名	規格・剤形間違いのパターン		
テグレトール	錠100mg	と	錠200mg
デパケン	錠200mg	と	R錠200mg
	細粒20%	と	細粒40%
トピナ	錠25mg	と	錠50mg
バルプロ酸ナトリウム	錠200mg	と	SR錠200mg
	錠100mg	と	錠200mg
ラミクタール	錠小児用2mg	と	錠25mg
ランドセン	細粒0.1%	と	細粒0.5%
リボトリール	錠0.5mg	と	錠1mg

※1 一般的名称に屋号が付されている後発医薬品のブランド名については一般的名称で掲載した。

※2 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成26年年報」332頁 図表8-9を改変

<参考> 各ブランドで販売されている規格・剤形は次の通り。

テグレトール・・・錠100mg 錠200mg 細粒50%
 デパケン・・・錠100mg 錠200mg R錠100mg R錠200mg 細粒20%
 細粒40% シロップ5%
 トピナ・・・錠25mg 錠50mg 錠100mg 細粒10%
 バルプロ酸ナトリウム・・・錠100mg 錠200mg SR錠100mg SR錠200mg
 徐放B錠100mg 徐放B錠200mg 細粒20% 細粒40%
 徐放顆粒40% 徐放U顆粒40% シロップ5%
 ラミクタール・・・錠25mg 錠100mg 錠小児用2mg 錠小児用5mg
 ランドセン・・・錠0.5mg 錠1mg 錠2mg 細粒0.1% 細粒0.5%
 リボトリール・・・錠0.5mg 錠1mg 錠2mg 細粒0.1% 細粒0.5%

